



動物レスキュー通信

2014年11月 第18号 (平成26年11月1日発行)

発行元
一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

殺処分について考ええる 〜生体展示販売〜



皆の力で常識を非常識に！

詩月財団では、ワンちゃん、ネコちゃん
の殺処分がなくなるように、啓蒙を中心
に活動しています。私たちが行っている
この啓蒙活動は「あまり意味がない」「こ
んなのは動物を助けていることにはな
らない」という風に見られがちです。
保護活動は殺処分から3匹救った、
5匹里親を探した、というように数字
にして結果がとて見えやすいです
が、啓蒙活動はこの活動によりだけ
だけの人が活動の内容を理解し、それ
だけの動物が助かったのかという数字
がほとんど見えません。そのことによ
り、オンラインオフラインを問わず様
々な活動の中で「目の前にある命を助
ける活動をしている人が偉くて、それ
以外の活動は無意味」などと言っ
て争いが起きている事もあるのが現
実です。果たして本当にそれでしよ
うか？私ほどどちらも尊重する事であ
り、どちらも絶対に必要な事だと感
じています。どちらの活動をする人が
全くないのではなく、どちらの活動も
必要だと感じています。また、どち
らも片方の活動をする人が全くな
ってしまっただけでは、もう片方の
活動が途端に困ってしまうはずで
す。保護活動がなくなるとは、だ
ちまちま殺処分される大猫たちがあ
ふれます。逆に啓蒙活動がなくな
れば殺処分の現状を理解する人が減
り、どんどん生産され、保護しな
くなくてはならない数が今以上に増
え、あふれかえってしまつてしま
うからです。ですから、両者が協
力することによってより早く、そ
して共存して初めて殺処分ゼロが
実現できると考えています。これら
を踏まえたと、疑問に感じて欲
しい事をお話します。

あなたが「ペットが欲しい」と思
った時どうしますか？一番多い答えは
「ペットショップに行く」という答え
ではないでしょうか？ここで別の角
度から見てみましょう。あなたはス
ーパーの生鮮食品売り場にいま
います。たくさんの商品が並んでいま
す。そこには赤札がついたセー
ル品も一緒に並んでいます。そのセ
ール品は少し安いだけ、消費期限が
近かり、理由は様々ですが早く売
り切つてしまいたい商品も一緒に
並んでいます。これは誰もが気軽
に買える展示陳列販売だからこ
そ起きている事、その時の需要に
対して供給が上まつてしまつて
いるのです。セール品でも売れ残
つてしまった商品は、おそらく
廃棄処分、もしくは従業員が消費
するなどして、売り上げにはつな
がりません。これをペットシ
ョップに置き換えてみましょう。
あなたには、ペットショップにいま
います。様々な種類の小さなワン
ちゃん、ネコちゃん、赤札が
ついているワンちゃん、ネコ
ちゃんもいます。そのセールの子
たちは、他の子たちと比べてみる
とかなり体が大きく、大人びた顔
になってしまっているのではない
でしょうか？それは生鮮食品で
言うところの「賞味期限が近い」と
いうことと同じです。セール品
でも売れ残つてしまった子はど
うなるのでしょうか？生鮮食品
のように廃棄するのでしょうか？
それとも従業員が

自宅に連れて帰つて一生面倒をみる
のでしょうか？「これらは生鮮食品
とは違い、売上に繋がらない」と
ころか、一生面倒をみる事となり、
命を全つするまでの費用を考
えらるお店としてはかなりの損
失になります。以前の私は展示
されているワンちゃんやネコ
ちゃんに対して、「こんな疑問を
感じた事は全くありませんで
した。それどころか愛猫のフ
ードやネコ砂を購入する際に、
可愛さや癒しを求めて、ペ
ットショップに足を運ぶ事も
ありました。でも、ふとした
きっかけで殺処分の事を知
り、色々調べて行くうちに、
ペットショップの生体展示販
売に疑問を持ちました。そ
して様々な本などを読み、考
えた結果、「この生体展示販売
が当り前の日本では必ず売
れ残り、生体と同時に可愛
さだけが先走り、よく考え、
相談する事もなく、衝動買
いを促進してしまつた事では
ないか？」と考えるに至り
ました。ですがこのペットシ
ョップの生体展示販売が現在
、商売として成り立ってしま
つてしまっている以上、現実
問題ではすぐに廃止、禁止と
言う訳には行きませんので、
飼育者の意識を変えなければ
なりません。それはワンちゃん
、ネコちゃんはペットシ
ョップで買うのではなく、動物
保護センターや動物保護施設
から譲渡してもらうという事。
譲渡を受けるとなると様々なク
リアシなくてはならない条件
や審査があります。ですが、
それをクリアできないのであれば、
ペットショップで買ったとして
も、一生面倒をみる事が出来
なくなる確率が極めて高いとい
う事が言えるのです。まずは
あなたの意識を「譲渡は常識、
買うは非常識」に変えて下さ
い。そしてもう一度、ペ
ットショップに足を運んでみ
て下さい。見え方が違つてく
るはずです。

知らない事は恥ではありません。知
つても尚、同じ事をする、あ
るいは行動に起こさない事が
恥ずかしい事なのです。今、
この記事を読み、知つてもら
えたのなら、今すぐ考えを切り
替えて下さい。(詩月)